地域生活支援センター「わくわく」 放課後等デイサービス
2020年度　自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	80%	20%	0%	グループごとに2つの支援室に分けて、支援に適した環境を作っています。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%	規定以上の職員配置をしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0%	40%	60%	エレベーターの設置はしていませんが、階段には手すりや柵を設けるなどの配慮を施しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%	再アセスメントを丁寧に行い、常に改善意識を持つようにしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	アンケート調査は2018年度より実施しています。結果を踏まえ、今後の業務改善に努めます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	2018年度より自己評価及び保護者向け評価表をホームページで公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	60%	40%	0%	第三者評価は受けていませんが、第三者委員と定期的に意見交換を行い、改善を図るよう努めています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	研修の機会を設け資質の向上を目指していきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	適切なアセスメントと共に、利用する児童と保護者のニーズを盛り込んだ計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	80%	20%	0%	既製品のアセスメントツールは利用していません。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%	ミーティングを定期的に開催し、支援員間の意見交換を行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	お子さんの希望を聞き、おやつクッキングと運動プログラムを軸にして、プログラムを設定しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%	0%	0%	通常の放課後支援と休校日支援では、プログラムの内容に変化を加えて、支援を実施しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	お子さんの特性や状態に合わせた活動内容を計画に盛り込んでいます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	支援前の打ち合わせ時間において、その日の支援内容の確認や情報共有ができるよう、ミーティングを行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	0%	毎朝の打ち合わせ時間に前日の支援の振り返りを行っています。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	一人ひとりの記録をしっかり取り、支援の振り返りと改善を行っています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	80%	20%	0%	行事予定表にモニタリング時期を定め定期的に実施し、見直しなどの判断をしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	80%	20%	0%	職員ミーティング等においてガイドラインの見直しを行い、支援に反映するよう努めます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	管理者、もしくは児童発達支援管理責任者が会議に参加し、情報の共有を行っています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%	0%	0%	保護者を通じて、学校からのプリントや保護者からの連絡をもらいながら情報共有を行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	非該当			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	20%	60%	20%	必要に応じて、適宜情報の共有を行います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	非該当			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0%	100%	0%	必要に応じて、児童発達支援センター「すきっぷ」との連携を行っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0%	40%	60%	現在は行っていませんが、近隣児童館等との交流を検討します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0%	40%	60%	地域の協議会、部会へ管理者等が参加しています。職員との情報共有を図ります。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	毎回全員の保護者とお迎え時に様々な情報を交換し、共通理解に努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	40%	60%	0%	定期的なペアレント・トレーニングは行っていませんが、随時保護者への相談支援を行っています。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	契約時に重要事項説明書を用いて丁寧に説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	ご利用の度に話を聞き、時に個別に時間を取りながら相談に応じています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	40%	60%	0%	保護者のニーズに合わせて、保護者会等の開催を検討します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	苦情や伝達ミスなどに対して迅速にかつ適切な対応となるように今後も努力していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	月1回の『わくわくだより』会報の発行や連絡事項を廊下に張り出すなどして情報の発信をしています。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	利用実績表などは他者の目に触れないように工夫しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	絵カードや写真カード等で、より理解しやすいような工夫、配慮をしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	40%	60%	0%	学園開催の行事等へ近隣の方を招待しています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	80%	20%	0%	マニュアルがあることや内容を周知しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	80%	20%	0%	定期的に避難訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	全職員が研修時間を確保できるように、工夫しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	非該当			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	非該当			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	80%	0%	20%	非常勤職員も含めた全職員に回覧し、事柄や改善点の情報共有を行います。